

本市には、様々な企業が立地しています。市民の皆さんはどのような企業があり、そこでどのような製品が誕生し、またどのような人が働いているかご存じでしょうか。リレー形式で、市内の企業やものづくり・人づくりについて紹介しています。

市内企業のものづくり・人づくりを紹介！
企業のちから

No25 The company in Shirakawa

(株)美松製菓 福島工場

住所：表郷番沢字上大7-1
事業内容：バウムクーヘンの製造・販売



約半世紀に渡り積み重ねてきた技が生み出す
“しっとり”感が持ち味のバウムクーヘン



- 1 福島工場で作られる主な製品。大小含めると1日約2万5千袋を製造しています。
- 2 工場外観。緑が多い環境の中でおいしいバウムクーヘンが作られています。
- 3 社員の皆さん。高い技術力で安定した風味を生み出しています。
- 4 無菌冷却室では焼き上がりの状態のものを24時間かけて冷まします。
- 5 ロール状のものをカットする作業の様子。
- 6 「しっとりとした食感には自信があります」と話す高久さん。

「私たちの会社は、バウムクーヘンを専門に製造する製菓メーカーです。食べるとほっとする、思わず笑みがこぼれるような製品を目指し、一つひとつ丹精込めて手づくりしています」と話す福島工場製造係長の高久伸一さん。

美松製菓は、昭和38年に東京都墨田区で創業。当時、製菓業界では珍しかったバウムクーヘンに目を付け、ほかに先駆け製造を開始しました。その後、昭和50年に創業者が故郷へ錦を飾る思いで、出身地の旧表郷村に福島工場を建設。大量生産では出せない味にこだわり、手間を惜しまず一層一層丁寧に焼き上げる製法で、バウムクーヘン一筋約半世紀に渡りつくり続けてきました。長年積み重ねてきた技術と豊かな知識で生み出される製品は、手作業ならではの風味としっとりとした食感が持ち味です。

敷地面積は8,200㎡で社員は70人。その約8割が地元採用で、地域の雇用にも大きく貢献しています。また、生地練り方や焼き方のごくわずかな違いでも味や食感に影響が出るため、社員同士で意思の疎通を図りながら、常に高い品質を保つように心掛けています。

「これからも努力を惜しまず技術を向上させ、多くの人に親しまれる製品をつくり続けていきます」と高久さんにはこやかに話してくれました。

編集・発行 白河市市長公室秘書広報課
961・8602 福島県白河市八幡小路7-1
☎0241-11111

コンセプトをこまめに抜こう
白河市はチャレンジ25キャンペーンに参加しています。
チャレンジ25

ふくしまデスティネーションキャンペーン

ツーリズムガイド白河 推薦スポット
しらかわの贈り物

ふくしまデスティネーションキャンペーンにあわせ、来月号から“しらかわの贈り物”のコーナーがスタートします。ここでは、ツーリズムガイド白河の皆さんが推薦する本市の観光スポットをお届けします。このコーナーでの新しい発見が、皆さんへの貴重な贈り物になるように。

学んできた白河の歴史を分かりやすく

私たちツーリズムガイド白河は、学んできた白河の歴史の知識などを分かりやすく皆さんに伝えたいと活動しています。「しらかわの贈り物」では、ガイドのメンバーと一緒にお勧めのスポットを紹介していきます。ぜひ行ってみてください。

ツーリズムガイド白河では会員を募集しています。
☎白河観光物産協会 ☎21147



ツーリズムガイド白河会長
渡部 武さん Watabe Takeshi

「いいね！」を押して市の情報をチェック



白河市公式ページ



<https://www.facebook.com/city.shirakawa>

Introduction of the cover

今月号の表紙

今月号の表紙は、白河の関跡に群生する「かたくりの花」です。開花してから約2週間で消えることから「春の妖精」と呼ばれています。片栗粉は、その名のとおり、昔はこの根等から作られていましたが、取れる量が少なく、近年ではジャガイモ等から製造されています。発芽から開花まで7、8年かかり、全国でも貴重な群生地であることから、可憐な花を一目見ようと、毎年多くの観光客が訪れています。